

3. 貸借対照表

平成22年 3月31日現在

(単位:千円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	15,683,369	16,654,735	△ 971,366
有形固定資産	15,150,570	16,027,683	△ 877,113
その他の固定資産	532,799	627,052	△ 94,253
流動資産	2,168,969	2,988,865	△ 819,896
現金預金	2,118,836	2,857,776	△ 738,940
その他の流動資産	50,133	131,089	△ 80,956
資 産 の 部 合 計	17,852,338	19,643,600	△ 1,791,262
負 債 の 部 ・ 基 本 金 の 部 ・ 消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	733,070	734,161	△ 1,091
流動負債	379,239	445,073	△ 65,834
負 債 の 部 合 計	1,112,309	1,179,234	△ 66,925
第1号基本金	22,340,264	22,755,016	△ 414,752
第4号基本金	387,000	387,000	0
基 本 金 の 部 合 計	22,727,264	23,142,016	△ 414,752
翌年度繰越消費支出超過額	5,987,235	4,677,650	1,309,585
消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	△ 5,987,235	△ 4,677,650	△ 1,309,585
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
負 債 の 部、基 本 金 の 部 および 消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	17,852,338	19,643,600	△ 1,791,262

貸借対照表における主な要点

- ・ 有形固定資産について、平成19年度に取得した資産の計上において今年度修正を行いました。その結果、費用に約2億2千万円振替計上することとなりました。通常の減価償却費と合わせて8億7700万円減少しました。
- ・ 固定負債は、退職給与引当金のみの計上額です。
- ・ 基本金は、純真高等学校以外すべての部門において取崩を行いました。特に資産の修正計上に伴う取崩の影響が大きく、合計で4億1475万円の減少となりました。